

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味	 注意を促す記号です。	 してはいけない「禁止」内容です。	 しなければならない「指示」内容です。
--------	--	--	--

 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

-  ●挿入口や取り出し口には手を入れない
引き込まれる危険があります。
- 手でフィルムを押し込んだりしない
挿入口に引き込まれる危険があります。

-  ●お子様には使用させない
障害などの重大事故が発生する危険があります。

- 電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う**
-  ●電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを使う
火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよく拭き取る
湿気などで絶縁が低下し、発火・感電の原因になります。

-  ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

-  ●引火性のもの(ガソリン、灯油、ベンジン、シンナーなど)の近くで使用しない
火災の原因になります。

-  ●不安定な場所に置かない
転落、落下によるけがや破損の原因になります。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

-  ●使用しないときや移動するときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により漏電し、火災・感電の原因になります。

-  ●AC100V以外では使用しない
故障や火災の原因になります。
- たこ足配線はしない
火災の原因になります。

-  ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜く
電源コードが断線したり、ショートによって発火・感電したりする原因になります。

使用上の注意

- テレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。テレビなどの近くでの使用は避けてください。
- 本品及び梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。

ラミネーター LM32E／LM42E

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	お買い上げ日より：1年間
年 月 日		ただし、消耗品（カートリッジなど）を除く	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
		電話（ ）	-
※販売店	住所・店名		
		電話（ ）	-

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。



取扱説明書

ラミネーター LM32E LM42E

- このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料) **0120-311-564**

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料) **0800-170-7070**

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは **<http://www.irisohyama.co.jp/support/>**
メールフォームにご記入のうえ送信してください

■仕様

品 名	ラミネーター	
品 番	LM32E	LM42E
外形寸法	幅438×奥行95×高さ80mm(ワイヤートレーを除く)	幅350×奥行95×高さ80mm(ワイヤートレーを除く)
質 量	約1.6kg	約1.2kg
最大ラミネート幅	315mm	225mm
最大ラミネート厚	0.4mm	
コードの長さ	約1.6m	
主要材質	ABS樹脂、スチール	
ラミネート速度	約0.25m/分(50Hz)、約0.3m/分(60Hz)	
ウォームアップ時間	約4～6分	
電 源	AC100V(50/60Hz)	
消費電力	250W	185W
付 属 品	ワイヤートレー、取扱説明書（本書）	

フィルムと原稿の選びかた

原稿より大きすぎるフィルムを使うと、本体のつまりや巻き込みなどの重大な故障の原因となります。
上記の「原稿のフィルムへのはさみかた」をよくお読みの上、正しくフィルムをお選びください。

〈主な原稿の厚さの目安〉

厚物	官製はがき・名刺	0.2mm
薄物	カラーコピー紙(80g/m ²)	0.1mm
	コピー紙(64g/m ²)	0.09mm
	新聞紙	0.07mm

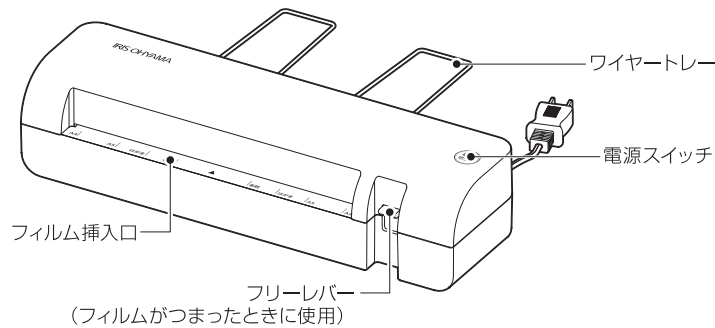
※本機が加工できる厚さは、フィルムと原稿を合わせて0.4mmまでです。

	フィルムの厚み	+	原稿の厚み	=	合計の厚み
100μmフィルム使用	0.2mm	+	0.2mm以内	=	0.4mm以内

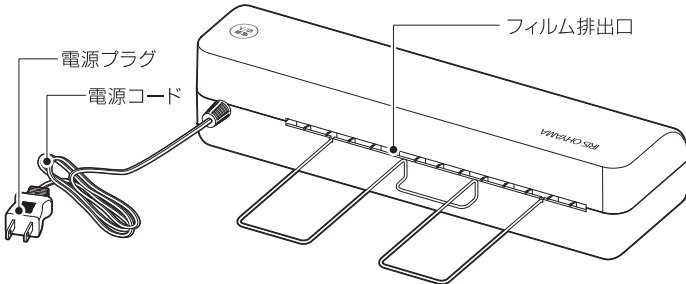
※本機は100μmフィルム専用です。

各部の名称

■正面

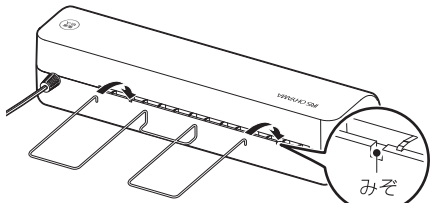


■背面



ワイヤートレーの取り付け方法

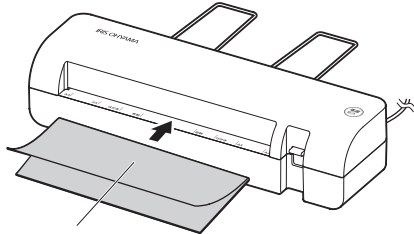
本体のみぞに引っ掛けます。



お手入れのしかた

■ローラーのお手入れ

ローラーにラミネートフィルムの糊が付着するとフィルムを巻き込むことがあります。また、古くなった糊は非常に取りにくくなりますので、約20回の加工を目安に、ローラーの簡単な清掃を行なってください。クリーニングには、カレンダーやカタログ(中手)の用紙を二つ折りにし、折り目の方からまっすぐ機械に入れます。これを数回繰り返してください。



二つ折りにしたカレンダーなど

※糊の付着によるフィルムの巻き込みは有償修理となります。

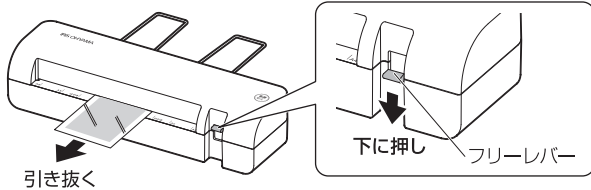
! ローラー清掃の際にコピー用紙など、薄手の用紙を使用すると巻き込むおそれがあります。巻き込んだ物は機械の外に出てきませんので注意してください。用紙を巻き込んでしまった場合はただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはアイリスコールへご連絡ください。

■本体のお手入れ

- 本体外側の汚れは、水で薄めた中性洗剤を布に少しつけて拭き取ってください。
- 本体を掃除する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてから行ってください。また、ガソリン、ベンジン、みがき粉等は、変形や傷の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

■フィルムが詰まったときは

フィルムが通常のタイミングで排出されないなど、詰まったと思われる場合は「フリーレバー」を下に押しながら、フィルムを引き抜いてください。



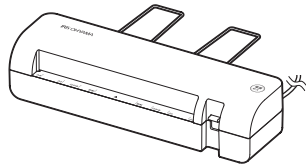
※フィルムを取り除く場合は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
上記で取り除けない場合は修理となりますので、販売店またはアイリスコールへご連絡ください。

使いかた

※本体の後側(フィルム取り出し口)にフィルムが排出できる広さを確保してください。
(A4: 30cm以上、A3: 42cm以上)

1 フィルム排出口下部にワイヤートレーを取り付ける
(「各部の名称 ■背面」参照)

2 ラミネーターを平らな場所に設置する



3 電源プラグをコンセントに差し込む



4 電源スイッチを入れる



5 原稿を準備する

●原稿のフィルムへのはさみかた (条件に合わせて正しく行なってください。)

条 件	方 法
●定形のラミネート原稿 例) A4用紙をA4専用フィルムでラミネートする場合	シール部分 挿入方向 均一に 原稿 ラミネート原稿はシール部分にあたるまで差し込んでください。
●不定形のラミネート原稿	捨て紙 シール部分いっぱいまではさみ込みます。 原稿 捨て紙 捨て紙を使用してください。

一度ラミネートしたものは、フィルムをはがしても再利用できません。

6 ラミネートする

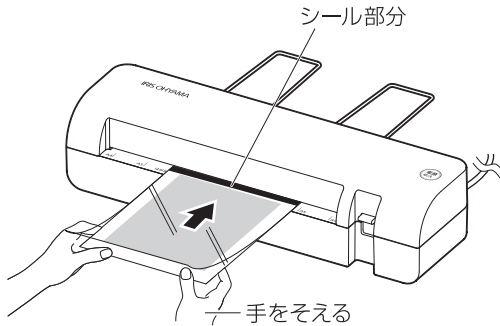
使用開始後、しばらくはラミネートをするたびに煙が出ますが、本体の故障ではありません。

電源スイッチが赤から青に変わったら、投入口のフィルムサイズ表示に合わせて、フィルムをまっすぐにシール部分を先端にして投入してください。ローラーにフィルムがあたると自動的に送られます。

●連続して使用すると、電源スイッチが青から赤に変わります。その場合は再び電源スイッチが赤から青に変わってからフィルムを投入してください。

<ワンポイントアドバイス>

電源スイッチのLEDが青色に切り替わった後、1分程度経過してからフィルムを入れていただくと、よりきれいにラミネートすることができます。



⚠ 次の方法は絶対にしない

	カット 禁止		継ぎ足し 禁止		はみ出し 禁止
	逆入れ 禁止		ななめ入れ 禁止		背面入れ 禁止

- 排出されたばかりのフィルムは熱いので注意してください。
- 前のフィルムが完全に排出されてから次のフィルムを入れてください。

●ラミネートする原稿について

一度ラミネート加工した原稿は元に戻すことができません。原稿の種類・厚さ・セット方法・周囲の温度・インクの種類などによっては、シワがよる、加工物が反る、原稿がにじむ、変色する、表面に細かい気泡が入るなどの加工不良が発生する場合があります。またフィルムを巻き込んだり、火災など重大な事故の原因になるおそれがありますので、次のような物をラミネートすることは、絶対に避けてください。

- 発火性の物、熱に溶けやすいもの。(塩ビ、ポリエチレンなど)
- たった一枚しか無いような大切なもの。
- フィルムを含めて0.4mm以上の厚さのもの。(例: 写真の2枚重ね、サイン色紙など)
- 感熱紙・クレヨンで描いた絵など高温で変色、変質するもの。
- 片面のみのラミネート。
- フィルムのみラミネート。
- フィルムの継ぎ足し。および加工前のフィルムのカット・変形。
- クレジットカードなどの磁気カード類。
- 折れ曲がっている物、わん曲しているもの。
- 押花(台紙を使用しないもの。また、台紙、フィルムなどを含めた厚さが0.4mmをこえるもの)
- 金属、布、木片など紙以外のもの。
- コーティングされた紙やエンボス加工、油分を含むような特殊な印刷物。
- インクジェットプリンターで印刷した直後の湿った紙などの、水分を含んだ印刷物。

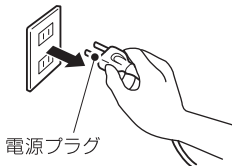
7 終了する

電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜く

電源コードが断線したり、ショートによって発火・感電したりする原因になります。



故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

こんなとき	しらべるところ	なおしかた
主電源スイッチを入れても動かない	➢ 電源プラグはコンセントに正しく接続されていますか?	➢ 電源プラグを正しく接続してください。
フィルムが入っていかない	➢ 本機がラミネートできる厚さを超過していませんか?	➢ 本機が加工できる厚さは、フィルムと原稿を合わせて0.4mmまでです。もう一度確認してください。 (「使いかた 5」参照)
フィルムが詰まった	➢	フリーレバーを下に押しながら、詰まったフィルムを引き抜いてください。 (「お手入れのしかた ■フィルムが詰まったときは」参照) 上記手順で取り除けない場合は自分で分解せず、販売店またはアイリスコールへご連絡ください。